

1. 卒業要件・資格等

1) 卒業要件

本学を卒業するには、4年（編入学・転入学の規程により入学した方は、その在学すべき年数）以上在学し、別に定める授業科目から、分野ごとに定められた単位以上を履修し、合計で126単位以上の履修が必要となります。

【2017・2018年度入学生】

授業科目の区分	必要修得単位数		備 考
	必修科目	選択科目	
基礎分野	45 単位	11 単位以上	看護の基礎から1単位以上
実践分野	47 単位	－	
発展分野	23 単位	－	
合 計	115 単位	11 単位以上	合計 126 単位以上

2) 学位記の授与

卒業を認定された者に対して、学位記の授与を行います。

学位：学士（看護学）

3) 卒業時の取得資格

所定の単位を修得することにより、次の資格が取得できます。

看護師国家試験受験資格	卒業要件単位数を修得した者
保健師国家試験受験資格	卒業要件単位数の他、別に定める単位を修得した者

2. コースの設定

本学では、「保健師コース」「国際看護コース」「グローバル・スタディーズコース」の3コースを設定しています。

（希望者のみ）

1) 保健師コース

保健師国家試験受験資格を取得するには、卒業に必要な単位に加え、下記の科目を修得する必要があります。

【2017・2018年度入学生】

保健医療福祉行政論	1 単位（自由科目）
医療統計学Ⅲ	1 単位（自由科目）
疫学Ⅲ	1 単位（自由科目）
公衆衛生看護管理論Ⅱ	2 単位（自由科目）
集団・組織援助論Ⅱ	2 単位（自由科目）
個人・家族援助論Ⅱ	2 単位（自由科目）
産業保健	1 単位（自由科目）
学校保健	1 単位（自由科目）
公衆衛生看護学実習	5 単位（自由科目）
合計	16 単位

<保健師国家試験受験資格取得希望者の履修モデル（必修科目を除く）>

【2017・2018年度入学生】

1年	2年	3年	4年
—	—	産業保健（前） 学校保健（前）	保健医療福祉行政論（前） 医療統計学Ⅲ（前） 疫学Ⅲ（前） 公衆衛生看護管理論Ⅱ（前） 集団・組織援助論Ⅱ（前） 個人・家族援助論Ⅱ（前） 公衆衛生看護学実習（通）

・養護教諭二種免許

保健師免許を取得した上で、以下の科目を履修した場合、申請により、養護教諭二種免許が取得できます。（選択科目・自由科目のみ記載）

【2017・2018年度入学生】

情報機器の操作	1単位（選択科目）
体育理論	1単位（選択科目）
体育実技	1単位（選択科目）
人間と法（日本国憲法）	2単位（選択科目）

<養護教諭二種免許履修モデル>

1年	2年	3年	4年
情報機器の操作（前） 体育理論（前） 体育実技（通） 人間と法（日本国憲法） （後）		産業保健（前） 学校保健（前）	保健医療福祉行政論（前） 医療統計学Ⅲ（前） 疫学Ⅲ（前） 公衆衛生看護管理論Ⅱ（前） 集団・組織援助論Ⅱ（前） 個人・家族援助論（前） 公衆衛生看護学実習（通）

2) 国際看護コース

国際看護コースを履修する場合、卒業に必要な単位に加え、以下の科目を修得する必要があります。

【2015年度以降入学生】

国際看護論Ⅱ	1単位（自由科目）	
フィールドスタディⅠ	2単位（自由科目）	フィールドスタディⅠ・Ⅱ から1科目以上選択
フィールドスタディⅡ	2単位（自由科目）	
合計	3単位以上	

<国際看護コース希望者の履修モデル>

1年	2年	3年	4年
		国際看護論Ⅱ（前） フィールドスタディⅠ（前） フィールドスタディⅡ（前） （Ⅰ・Ⅱから1科目以上）	フィールドスタディⅠ（前） フィールドスタディⅡ（前） （Ⅰ・Ⅱから1科目以上）

3) グローバル・スタディーズコース

グローバル・スタディーズコースを履修する場合、卒業に必要な単位に加え、以下の科目を履修する必要があります。

English Communication	1 単位 (自由科目)
Intercultural Awareness	1 単位 (自由科目)
English Practice Abroad	3 単位 (自由科目)
合計	5 単位

上記以外にグローバル・スタディーコース履修者科目として以下の科目を開講します。
但し、コース修了要件には含まれません。

Practical English skills	1 単位 (自由科目)
--------------------------	-------------

<グローバル・スタディーズコース希望者の履修モデル>

1 年	2 年	3 年	4 年
English Communication (後)	English Practice Abroad (前) Intercultural Awareness (後)	※Practical English skills (前)	

※Practical English skills はコース修了要件には含みません。

3. 評価の基準及び GPA 制度

1) 評価の基準

評価は、筆記試験・レポートの他、出席状況等により総合的に判定され、合格した場合に、その授業科目所定の単位が与えられます。各科目の評価方法は、科目毎のシラバスに記載されています。

評価は、優・良・可をもって表し、優・良・可を合格、不可を不合格とします。

なお、評価の基準は以下のとおりです。

優：80 点以上

良：80 点未満から 70 点

可：70 点未満から 60 点

不可：60 点未満

2) GPA 制度

「GPA」とは、各授業科目の成績評価に対応してグレード・ポイント（「GP」）を付与して計算する 1 単位当たりの GP の平均値を示します。

GPA 制度は、学生の学習意欲を高めるとともに、厳格な成績評価と適切な学修指導に資することを目的としています。

<GPA の種類>

以下の 2 種類とします。

(1) 成績素点を基準に算出する GPA

学内で標準的に用い、学生・保護者への成績通知、履修指導基準等に使用します。

(2) 成績素点に基づかず、5 段階評価を基準に算出する GPA

対外的な通用性に配慮する必要がある場合に用います。

<GPA の計算方法>

計算方法は以下のとおりとし、算出された数値の小数点第 2 位を四捨五入します。

(1) 成績素点に基づく GPA

$$GP = (\text{素点} - 55) \div 10$$

但し、不合格（59点以下）の場合のGPは0とします。

GPA = (科目の単位数×その科目で得たGP) の総和 ÷ 対象科目単位数の総和

(2) 5段階評価に基づくGPA

GP =

素点	GP
90～100点	4
80～89点	3
70～79点	2
60～69点	1
59点以下	0

GPA = (科目の単位数×その科目で得たGP) の総和 ÷ 対象科目単位数の総和